

解答

一

- 問一 マイペース
問二 面倒なことをすばと切ってしまう（役割。）
問三 ア
問四 ア
問五 上杉の学級委員をやりたいという気持ちをふみにじることになる（から。）
問六 上杉は学級委員という器ではないうえ、マイペースで面倒がられてしまう（から。）
問七 少し申し訳ゝを握った。
問八 ウ

二

- 問一 ア イ
問二 ● ● ツキノワグマと遭遇することが増えている（現象。）
問三 ● ツキノワグマの生息痕跡がひろがっている（現象。）
問四 1 それまで土ゝぶいてくる（こと。）
2 植物レストラン
問五 地上から樹上までの森の空間を（使うこと。）
問六 イ
問七 カモシカの増加の動き
問八 ① たいしゅう ② かつこう ③ 競争 ④ 背景 ⑤ 面積

三

- 問一 1 ① 公平 ② 差別
2 ① 同意 ② 反対
3 ① 方法 ② 目的
4 ① 欠点 ② 長所
5 ① 発達 ② 退歩
問二 1 A イ B 5
2 A ア B 2
3 A ウ B 3
4 A エ B 4
5 A オ B 1

解説

一

問六 本文の最初の方で「僕」が上杉を「学級委員という器ではない。」「マイペースぶりにみんなに面倒がられることもある」と評している部分を要約して答えましょう。

二

問七 筆者は、ツキノワグマとカモシカの増加の動きは、時期がずれているだけで似ていると最後の段落で述べています。